



## ● 小さな博物館 ● ブレーキ博物館

### MINI BRAKE MUSEUM

ブレーキ博物館、墨田区にあるこの小さな博物館を皆様はご存じだろうか。

1984(昭和59)年に地域産業経済活性化を図る目的をもって開館した、日本初の「ブレーキ専門」の博物館である。

「自動車整備業界の方にはもっと本館をご利用いただきたいんです」館長の関 英雄さんは残念そうに話す。ブレーキ博物館の開設趣旨は、「自動車整備業界と、一般ユーザーのコミュニティ・スペース」、そして「規制緩和により低下した一般ユーザーのブレーキに対する意識の啓発」だ。どちらも我々自整備業者にとって有益な内容である。

来館する主な層は一般ユーザーと小中学生を合わせ、8割を超える。本来は自整備業者の方々にご来館いただく目的で設立した博物館であるが、自動車メーカーや保険会社といった一部の方は見学に来るものの、一般ユーザーと最も接

する機会の多い自整備業者はほとんど来館されないという。

「ユーザーさんと一緒にご来館いただければ、点検整備の重要性を理解していただくことができ、結果入庫につながると思うのです」関さんは各地でブレーキに関する講演も行っており、一般ユーザーの心をつかむ説明の仕方、話の内容は我々の業務にも非常に参考になる。

わかりやすい説明はユーザーの信頼を得る最も強力な武器となるからだ。



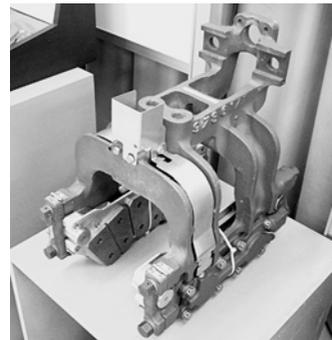
自動車の世界史、ブレーキの定義、ブレーキの変遷などがまとめてあるパネルも多数展示。さらにモニターを使って、映像によるさまざまな車情報を紹介している。

展示品の目玉はスズキのアルトワークス4WDを足まわりだけにした模型。前輪のディス

◎国内で触れることのできるF1のブレーキはここ、ブレーキ博物館にしかない



劣化したブレーキパッドやディスクロータが展示されており、自動車に詳しくない方も危険性を理解できるようになっている



大変めずらしい新幹線「のぞみ」のブレーキも展示されている

## ●ブレーキ博物館●

### 【ブレーキ博物館】

所在地：〒130-0022 東京都墨田区江東橋1-5-5  
 (中山ライニング工業株式会社・墨田営業所2F)  
 TEL.03-3632-6931 FAX.03-3632-6932  
 休館日：日・祝日、年末年始、臨時休館日有  
 開館時間：午前10時～午後5時  
 入館料：無料  
 休館日：土曜日、日曜日及び年末年始  
 URL：http://www.mbm.gr.jp/  
 (見学予約もホームページ上からできます)  
 e-mail：info@mbm.gr.jp  
 展示内容：ブレーキの仕組み、ブレーキパッド原料、

クブレーキ、後輪のドラムブレーキの内部の動きが見やすいようにカットされ、ABS作動時やペーパーロック現象時のペダルの動きが体験可能。さらに配線によって制動力の伝わり方が一目でわかる。日本にほとんどない優れたカットモデルで、一般ユーザーに説明をするには非常に良いものである。

また、我々も目にする事のない「ブレーキの原料」、「新幹線のぞみ」や「F1マシン」のブレーキが展示されており、手に取ることができる。



「これからの自整業はお客さんから言われるがままの整備ではなく、言い辛いことをバンバン言ってあげ、信頼を得ることが求められると思います。ディーラーさんがファミリーレストラン路線でいくのなら、專業さんは専門店・料亭の職人になっていただきたいですね」

そう語る関さんのブレーキを見る目は輝いていた。



館長の関さん。訪れた方に楽しくブレーキの仕組みや重要性を解説してくれる



アルトワクス(suzuki)の駆動制御モデル。実際に運転席に座りながら自動車の仕組みを勉強できる。ABSやペーパーロック現象を体感できる貴重な展示品だ



皆様も是非、お客様と一緒に来館して、ブレーキの大切さを学んでみてはいかがでしょうか

### ●案内図●

		錦糸公園	
錦水公園		すみだ トリフォニーホール	マリオットホテル 錦糸町東武
		そごう	
		北口	
		錦糸町駅	
		南口	
至 東京 新宿	江東橋	総武線	京葉道路
		テルミナ	楽天地
		丸井	至 市川 千葉
三ツ目通り		両国高校	ウインズ錦糸町
		四ツ目通り	
		錦糸町出口	
		首都高速7号小松川線	

**小さな博物館**  
小さいが大切な博物館

**MBM**  
MINI BRAKE MUSEUM

**ブレーキ博物館**

博物館へお越しの方は二階へどうぞ

開館日のご案内  
開館日：月曜日～土曜日(日曜・祝祭日は休館)  
 開館時間：午前10時～午後5時迄  
 入館料：無料

墨田区  
江東橋  
1-5-5